

くも膜下出血の治療を受けた患者さんへ

地方独立行政法人大牟田市立病院では、受診時に患者さんから取得された診療情報等を使用して下記の研究を行っています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ先までご連絡ください。
また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本件研究の対象者に該当されると思われる方またはその代理人の方で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。なお、その申し出は研究成果公表前までとなりますのでご了承願います。

研究課題名	当院において破裂脳動脈瘤術後急性期治療にクラゾセンタン導入がもたらした変化
研究責任者	地方独立行政法人大牟田市立病院 脳神経外科 責任者名：山下 伸
研究の目的と意義	<p>破裂脳動脈瘤によるくも膜下出血は、突如引き起こされる致命的な疾患です。病院搬送後、治療ができる状態であれば、血管内コイル塞栓術や開頭クリッピング術などの治療が行われます。しかし、くも膜下出血では、発症2週間以内に脳の血管が狭くなり、脳の血液が十分に流れなくなる脳血管れん縮を起こす可能性があります。脳血管れん縮がおこると、脳が障害される脳梗塞をきたし、死亡もしくは後遺症が残る可能性が高くなります。</p> <p>この脳血管攣縮の予防薬としては、2022年4月にクラゾセンタンが保険収載され、当院でも2022年8月より投与できるようになりました。</p> <p>本研究では、クラゾセンタン導入前症例と導入後の症例を後方的に比較し検証します。</p> <p>*この研究は、大牟田市立病院倫理委員会臨床研究専門部会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。</p>
調査データ 該当期間	2021年1月から2024年3月までの情報を調査対象とします
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象となる方 受診科：地方独立行政法人大牟田市立病院 脳神経外科 対象疾患：くも膜下出血で入院された患者</p> <p>●研究の実施期間 病院長の研究実施許可日から 2025年3月31日まで</p> <p>●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します 調査項目：①患者背景：性別、年齢、治療薬剤 ②検査データ・画像データ</p>

	③くも膜下出血の重症度、Fisher 分類、治療法、 脳血管攣縮の有無、有害事象、臨床転帰
情報の保護	<p>研究に関わる関係者は、対象となる患者さんの個人情報およびプライバシーの保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。</p> <p>対象となる患者さんの個人情報は、個人情報が特定できないように加工を行い、その個人情報を復元できる情報（対応表）は、研究責任者が保管します。</p>
外部への情報提供	外部への情報提供は行いません
利益相反	本研究の実施にあたり特定企業との利害関係はありません
試料・情報の提供の の辞退に関するお申 し出先・お問い合わせ 先	<p>地方独立行政法人大牟田市立病院 脳神経外科 研究責任者：山下 伸</p> <p>臨床研究管理室 電話：0944-53-1061（平日 9 時～17 時）</p>
備考・その他	